



# 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 中国塗料株式会社

コード番号 4617 URL <http://www.cmp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 植竹 正隆

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 三好 秀則

TEL 03-3506-3951

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日

平成26年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	50,463	14.8	3,303	109.6	3,613	68.1	2,337	104.9
26年3月期第2四半期	43,964	1.9	1,575	△43.1	2,149	△23.9	1,140	△28.6

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 1,621百万円 (△75.6%) 26年3月期第2四半期 6,649百万円 (286.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	35.30	—
26年3月期第2四半期	17.22	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	119,862	68,144	52.8	956.26
26年3月期	119,019	67,332	52.5	943.60

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 63,322百万円 26年3月期 62,487百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	6.00	—	7.00	13.00
27年3月期	—	6.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	7.00	13.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	96,000	5.6	5,500	35.5	6,000	18.6	3,700	13.2	55.87

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、(添付資料)2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	69,068,822 株	26年3月期	69,068,822 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	2,849,717 株	26年3月期	2,845,969 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	66,220,944 株	26年3月期2Q	66,229,199 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9
販売実績	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、日本で消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動が続き、昨年半ば以降持ち直しを続けていたユーロ圏でゼロ成長に後退する動きが見られました。しかしその一方で、米国経済が概ね堅調に推移し、また中国が小刻みな経済対策により景気減速に一定の歯止めをかけたことなどから、全体としては鈍いながらも緩やかな回復基調を維持しました。

当社グループを巡る環境としましては、船舶分野においては、減少が続いていた主要造船国の新造船建造量が全体的に底入れし、かつ修繕市場においても手堅い需要がありました。また、工業分野では、日本市場が消費増税の影響などにより弱含みましたが、海外においては底堅い市況となり、コンテナ分野においても急激な生産調整が行われることはなく、概ね安定的なコンテナボックスの生産が持続しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は50,463百万円（前年同期比14.8%増）となりました。利益面では、売上総利益の増加に加え、前年同期に比べ貸倒引当金繰入額が大幅に減少したことなどから、営業利益は3,303百万円（同109.6%増）、経常利益は3,613百万円（同68.1%増）、四半期純利益は2,337百万円（同104.9%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ842百万円増加の119,862百万円となりました。

#### ① 資産

流動資産は前連結会計年度末に比べ、862百万円増加の83,980百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加（2,698百万円）、有価証券の減少（980百万円）や現金及び預金の減少（943百万円）であります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ、19百万円減少の35,881百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の減少（690百万円）や投資有価証券の増加（662百万円）であります。

#### ② 負債

流動負債は前連結会計年度末に比べ、521百万円増加の43,699百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加（2,602百万円）や短期借入金の減少（2,320百万円）であります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ、490百万円減少の8,017百万円となりました。主な要因は、長期借入金の減少（756百万円）や退職給付に係る負債の増加（140百万円）であります。

#### ③ 純資産

純資産は前連結会計年度末に比べ、812百万円増加の68,144百万円となりました。主な要因は、四半期純利益の計上などによる利益剰余金の増加（1,789百万円）、その他有価証券評価差額金の増加（435百万円）や為替換算調整勘定の減少（1,417百万円）であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月9日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が130百万円増加し、利益剰余金が84百万円減少しております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,367	27,424
受取手形及び売掛金	38,677	41,376
有価証券	1,127	147
商品及び製品	9,067	8,970
仕掛品	557	502
原材料及び貯蔵品	5,505	6,104
繰延税金資産	1,169	1,181
その他	1,345	1,086
貸倒引当金	△2,701	△2,813
流動資産合計	83,118	83,980
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,216	7,789
機械装置及び運搬具(純額)	3,435	3,138
土地	13,183	13,171
その他(純額)	774	820
有形固定資産合計	25,610	24,919
無形固定資産	1,296	1,294
投資その他の資産		
投資有価証券	8,133	8,796
繰延税金資産	239	236
その他	675	703
貸倒引当金	△54	△68
投資その他の資産合計	8,994	9,668
固定資産合計	35,901	35,881
資産合計	119,019	119,862

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,664	17,267
短期借入金	20,862	18,541
1年内返済予定の長期借入金	48	758
未払金	3,120	2,845
未払法人税等	1,435	993
賞与引当金	165	364
役員賞与引当金	-	18
製品保証引当金	209	202
その他	2,673	2,708
流動負債合計	43,178	43,699
固定負債		
長期借入金	3,373	2,617
長期未払金	80	83
繰延税金負債	875	996
再評価に係る繰延税金負債	2,615	2,615
退職給付に係る負債	1,153	1,293
その他	410	410
固定負債合計	8,508	8,017
負債合計	51,686	51,717
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,626	11,626
資本剰余金	7,783	7,783
利益剰余金	37,276	39,065
自己株式	△1,183	△1,186
株主資本合計	55,501	57,288
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,124	2,560
土地再評価差額金	3,499	3,499
為替換算調整勘定	1,448	31
退職給付に係る調整累計額	△87	△57
その他の包括利益累計額合計	6,985	6,033
少数株主持分	4,844	4,821
純資産合計	67,332	68,144
負債純資産合計	119,019	119,862

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	43,964	50,463
売上原価	32,105	36,427
売上総利益	11,858	14,036
販売費及び一般管理費	10,283	10,733
営業利益	1,575	3,303
営業外収益		
受取利息	108	163
受取配当金	120	131
受取ロイヤリティー	62	44
技術指導料	49	81
為替差益	319	-
その他	142	144
営業外収益合計	803	565
営業外費用		
支払利息	189	143
為替差損	-	62
その他	40	48
営業外費用合計	229	254
経常利益	2,149	3,613
特別利益		
固定資産売却益	4	0
投資有価証券売却益	174	-
受取保険金	79	-
特別利益合計	259	0
特別損失		
固定資産売却損	1	5
固定資産圧縮損	79	-
その他	0	0
特別損失合計	81	6
税金等調整前四半期純利益	2,327	3,608
法人税、住民税及び事業税	840	1,029
法人税等調整額	64	△101
法人税等合計	905	927
少数株主損益調整前四半期純利益	1,421	2,680
少数株主利益	280	343
四半期純利益	1,140	2,337

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,421	2,680
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,292	432
為替換算調整勘定	3,934	△1,521
退職給付に係る調整額	-	29
その他の包括利益合計	5,227	△1,058
四半期包括利益	6,649	1,621
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,994	1,385
少数株主に係る四半期包括利益	654	236



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,327	3,608
減価償却費	751	799
のれん償却額	13	15
貸倒引当金の増減額(△は減少)	828	241
退職給付引当金の増減額(△は減少)	56	-
その他の引当金の増減額(△は減少)	89	215
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	60
受取利息及び受取配当金	△229	△304
受取保険金	△79	-
支払利息	189	143
為替差損益(△は益)	△96	54
固定資産除売却損益(△は益)	3	9
固定資産圧縮損	79	-
投資有価証券売却損益(△は益)	△174	0
売上債権の増減額(△は増加)	1,455	△3,879
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,218	△862
未払又は未収消費税等の増減額	7	126
仕入債務の増減額(△は減少)	△992	2,991
その他	△1,036	66
小計	4,410	3,286
利息及び配当金の受取額	230	305
保険金の受取額	79	-
利息の支払額	△174	△139
法人税等の支払額	△966	△1,368
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,579	2,083
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2,689	△6,046
定期預金の払戻による収入	4,058	5,912
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△4	△2
固定資産の取得による支出	△1,079	△747
固定資産の売却による収入	7	11
有価証券の純増減額(△は増加)	-	815
投資有価証券の取得による支出	△106	△8
投資有価証券の売却による収入	262	0
その他	25	△13
投資活動によるキャッシュ・フロー	473	△79
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△26	△1,791
長期借入金の返済による支出	△38	△29
自己株式の取得による支出	△1	△2
配当金の支払額	△463	△464
少数株主への配当金の支払額	△418	△225
その他	△23	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△972	△2,525
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,170	△572
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,250	△1,093
現金及び現金同等物の期首残高	17,908	23,037
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,159	21,943

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	中国	韓国	東南アジア	欧州・米国	合計
売上高						
外部顧客への売上高	17,456	12,608	3,909	5,076	4,913	43,964
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,188	2,110	162	1,425	335	5,222
計	18,645	14,719	4,071	6,501	5,248	49,186
セグメント利益又は 損失(△)	1,050	△722	197	671	△268	928

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント合計	928
セグメント間取引消去	1,270
全社費用(注)	△623
四半期連結損益計算書の営業利益	1,575

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	中国	韓国	東南アジア	欧州・米国	合計
売上高						
外部顧客への売上高	17,651	15,629	5,369	5,558	6,255	50,463
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,997	2,619	186	1,759	414	6,976
計	19,648	18,248	5,555	7,317	6,670	57,440
セグメント利益又は 損失(△)	785	863	97	908	△186	2,468

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント合計	2,468
セグメント間取引消去	1,411
全社費用（注）	△576
四半期連結損益計算書の営業利益	3,303

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

#### 4. 補足情報

##### 販売実績

前第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

（単位：百万円）

	日本	中国	韓国	東南 アジア	欧州 ・ 米国	計
船舶用塗料	14,082	6,384	3,879	2,521	4,748	31,615
工業用塗料	3,210	759	29	2,047	72	6,119
コンテナ用塗料	—	5,465	—	507	92	6,064
その他	164	—	—	—	—	164
計	17,456	12,608	3,909	5,076	4,913	43,964

（注）上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

当第2四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

（単位：百万円）

	日本	中国	韓国	東南 アジア	欧州 ・ 米国	計
船舶用塗料	14,560	8,685	5,257	3,013	5,873	37,389
工業用塗料	2,925	966	112	2,069	219	6,293
コンテナ用塗料	—	5,977	—	475	162	6,615
その他	165	—	—	—	—	165
計	17,651	15,629	5,369	5,558	6,255	50,463

（注）上記の金額には、消費税等は含まれておりません。